コシヒカリ生育情報　第６号

令和４年７月 21 日
魚沼農業普及指導センター
電話：025-792-1309
FAX　：025-792-9006

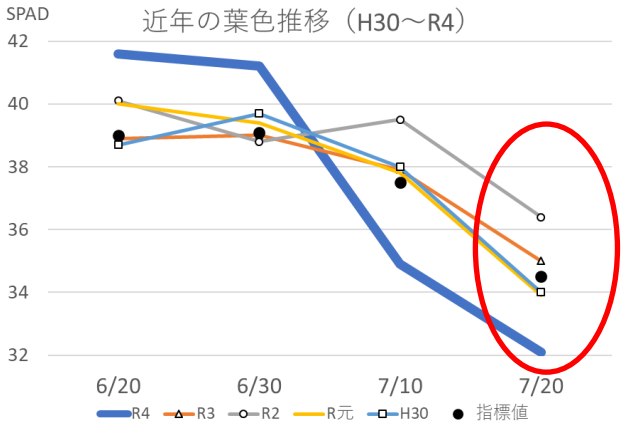
近年になく、葉色が急低下！
後期栄養確保のため、穂肥と水はしっかりと！

【７月 20 日生育状況】（３か所平均）

平均田植日	草丈(cm)		茎数（本/㎡）		葉数（葉）		葉色（SPAD）	
	本年	指標値比	本年	指標値比	本年	指標値差	本年	指標値差
５月 19 日	79	105%	453	110%	12.0	+0.1	32.1	-2.4

○指標値比較【　草丈：やや長い　茎数：多い　葉数：並　葉色：淡い　】

・葉色は前回調査に引き続き低下しており、栄養凋落が懸念される（前回調査－2.8）。
・向こう１か月（7/16～8/15）の平均気温は、高い確率 50%であるため（新潟地方気象台７月 14 日発表）、葉色の低下に注意し、穂肥と水管理で葉色の維持・回復に努める。



【今後の管理のポイント】

１　コシヒカリの穂肥施用
～出穂期は平年より「１日程度」早まる予想～

（１）分施の場合
・葉色は全般に急激にさめており、早急に１回目穂肥（窒素成分 1.0～1.5kg/10a）を施用する。
（草丈が長い場合も、ムラ直し程度に施用。）
・２回目穂肥は、出穂 10 日前に確実に施用する（窒素成分 1.0～1.5kg/10a）。
（ただし、１回目穂肥を遅らせて施用した場合は１回目の１週間後に施用）

（２）基肥一発の場合
・窒素成分の発現を促すため、飽水管理を徹底する。
・葉色の低下がみられ、出穂期の葉色が SPAD 値 32～33 を下回ると予想される場合は出穂期 10 日前までに追加穂肥を施用する。

（３）出穂期予想と２回目穂肥時期のめやす（７月 20 日現在）※　5/20～5/25 植えの予想
出穂期は気象条件により前後する場合があるため、必ず各ほ場の幼穂確認を行い穂肥を施用

予想出穂期	２回目穂肥時期（出穂 10 日前）	窒素成分（kg/10a）
８月４日	７月 25 日	1.0～1.5

２　こまめな水管理で稲体活力維持
（１）飽水管理を実施し、土壌からの窒素供給を図り、葉色の維持に努める。
（２）異常高温やフェーン時には湛水し、稲体の急激な水分不足を防止する。

３　病害虫防除の徹底
（１）葉色の濃いところを中心に葉いもちの早期発見に努める。
（２）斑点米カメムシ類防除のため、農道・畦畔の草刈りや水田内雑草の除去を徹底する。